

薬師寺保育園の移転、整備状況について

資料 3

1. 移転の経緯、土地の選定について

(1) 移転の経緯

- ① 園舎を民営化後概ね 10 年以内に建替えを実施することが移管条件である
- ② 令和元年 6 月の梅雨のころから雨漏りをするようになった
- ③ 数回修繕を行ったが改善されず、大掛かりな雨漏りの修繕には多額の費用がかかるので、修繕するなら建替えしたい
- ④ 薬師寺保育園前の道路が大雨時冠水する
 - ① ~④施設老朽化、災害時の安全性等を考慮し、移転して建替えとなった

(2) 土地の選定について

- ① 台風 19 号の際に保育園前の道路が冠水したため、浸水の危険性が少ない地域
- ② 現在の園舎敷地以上の面積（子ども達の環境が良くなるように）
- ③ 薬師寺地区近辺は埋蔵文化財包蔵地区が多いので、それ以外の土地
- ④ 現在の薬師寺保育園から 5 km 以内で旧南河内地区内
上記理由をもとに内木会が選定し、個人から取得した土地（緑二丁目）

2. 認可定員・利用定員の設定について

(1) 認可定員

- ・施設としての最大受入可能人数（保育室の面積等で設定されている）
【面積要件】 0、1 歳児： 3.3 m²/1 名 ・ 2 歳以上： 1.98 m²/1 名
- ・施設からの申請に基づき、県が認可（変更する場合も県）
- ・認可定員を超える預かりは原則不可

◇薬師寺保育園定員 110 名について

〈移転後の認可定員の変遷〉

単位：名

年 齢	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
現 在	2	10	8	12	14	14	60
移転後	12	15	18	21	22	22	110

表の見方：0 歳児 12 名+途中入園分 3 名=15 名→1 歳児定員

1 歳児定員 15 名+途中入園分 3 名=18 名→2 歳児定員（3 歳児も同じ）

0 歳児で入園した園児が 5 歳児になった時の各年齢定員合計が 110 名

① 0歳児の定員を2名から12名

(12名に増やした根拠)

市全体で途中入園を断っていた数(潜在的待機児童)の内、薬師保育園と系列園の薬師寺幼稚園、第二薬師寺幼稚園、あおば保育園で途中入園を断っていた人数を見込んだ

【用語説明】

潜在的待機児童:希望した園に入れないにもかかわらず、待機児童のカウントに含まれていない児童、隠れ待機児童とも呼ばれる
下野市全体で令和2年度潜在的待機児童数30名

② 1歳児から5歳児については、0歳児で入園した園児が進級する分と年齢ごとに年度途中入園児を数名程度見込み設定

③ 0歳児で入園した園児が年長になった時の各年齢定員の合計が110名となる

(2) 利用定員

- ・利用児童数を基に、施設、市で協議して決める定員
- ・給付費(委託費)の単価水準が決定(利用定員が大きくなると給付費単価下がる)
- ・利用定員は市の子ども子育て会議で意見聴取、県との協議を経て、市が設定
- ・利用定員を超えて入所させることはできない
- ・利用定員は認可定員に一致させることが基本
- ・実利用人数の実績や今後の見込みなどを踏まえ設定することが必要

3. 薬師寺保育園の整備状況、開園時期について

(1) 整備状況

- ・電柱移設、埋設物の撤去完了
- ・埋設物撤去後、碎石等を入れて地面を埋め戻した結果、地盤の固さが改善
- ・工法変更により建築確認申請再提出→建築確認済証交付(3月30日)
- ・9月下旬引き渡し予定

(2) 開園時期

令和4年10月頃予定